

ごみ処理恵庭モデル確立に向けた提言書(案)に関する意見一覧

資料2-3

No	状況	箇所	意見内容	備考(事務局の判断根拠、議論してほしい内容等)
1	反映済	はじめに 1項目1行目	変わる。→変わります。その「もの」を	
2	反映済	はじめに 1項目3行目	変わる。→変わります。	
3	反映済	はじめに 1項目4行目	未来へ紡ぐ→削除	
4	反映済	はじめに 1項目4行目	そんな想い→その想い	
5	反映済	はじめに 1項目4行目		明日を良くするため、→明日を良くするための意見による修正に合わせて、事務局で文言を修正しました。
6	反映済	はじめに 2項目1行目	ごみ処理体制は先進的な特長を持っています。 →ごみ処理体制には大きな特長があります。	
7	反映済	はじめに 2項目1行目	全道でも先駆けて→1.全道で先駆けて	収集方式や「生ごみ」を→収集方式、2.「生ごみ」を戸別収集と生ごみ資源化を分けるため変更しました。
8	反映済	はじめに 2項目3行目	市が単独で→3.市が単独で	
9	反映済	はじめに 2項目3行目	市の施設で→4.市の施設で	
10	反映済	はじめに 2項目4行目	処理していること、これらは大きな特長です。 →処理していることです。	
11	反映済	はじめに 2項目7行目	この恵庭市の先進的な特長をもつごみ処理体制を →この先進的な特長をもつ恵庭市のごみ処理体制を	
12	反映済	はじめに 3項目2行目	そのためにも～があります。→削除	
13	反映済	はじめに 3項目4行目	それは、→削除	
14	反映済	はじめに 3項目9行目	『ごみ処理恵庭モデル』として確立されていくことだと思います。 →肝要です。	
15	反映済	はじめに 3項目13行目	ごみ処理恵庭モデル確立に向けて→削除	
16	反映済	目次 Ⅱ 1 (7)		恵庭市の資源循環の取り組みへの評価→恵庭市の資源循環の取り組みp6の内容修正により、タイトルを事務局で修正しました。
17	反映済	目次 Ⅱ 2 (3)	ごみ処理恵庭モデルのあるべき姿 →ごみ処理恵庭モデルのビジョン	p14(4)のタイトル、文章にも影響するため、その部分も含めて要議論。

No	状況	箇所	意見内容	備考(事務局の判断根拠、議論してほしい内容等)
18	反映済	p1 2行目	持つまちで、農業が→持つまちです。農業が	
19	反映済	p1 5行目	まちづくりが盛んで→まちづくりが盛んな	
20	反映済	p1 6行目	「ガーデニングのまち」として全国的に認知されているまちでもあります。 →「ガーデニングのまち」として全国的に認知されています。	
21	要議論	p1 7行目～16行目	説明文内の色分けは不要ではないか	当初案のカラーリンクを活かした形にするか、文字は全て黒字としてシンプルにするか、また他の案はあるか等要議論。一旦全て黒字に修正しました。
22	要議論	p1 イメージ図	提言書の他のページとテイストが異なるため、立体図ではなく2次元のイメージ図にできないか	現行のイメージ図は恵庭市の特長を示しています。2次元の図にする場合、具体的なイメージや案について要議論。
23	反映済	p5 (6)		道内市(36市)→道内市(35市) に事務局で修正しました。
24	反映済	p6	もう少し何が評価されているのかをわかりやすくしてほしい	内容を修正し、「現状の資源循環の取組み」を中心に作成しました。
25	反映済	p6 イメージ図タイトル	都市代謝施設とはなにか	「都市代謝施設」という文言を除外しました。
26	反映済	p9 7行目	一般廃棄物に加え、『一般廃棄物と →一般廃棄物に加え、産業廃棄物のうち『一般廃棄物と	
27	反映済	p9 11行目	『合わせ産廃』と呼び、事業者→『合わせ産廃』と呼びます。	
28	要議論	p9 12行目	「6割以上の～ことを希望」をカラーで表現することで、 合わせ産廃を認める方向を強調しているように見えないか	カラーを黒文字に変更、また円グラフの6割以上の部分の枠線をなくし、通常の円グラフとし、『参考』としました。方向性や意見についてはp20のテーマ4事業系ごみの部分で述べることとし、本ページでは現状を説明する文章に修正しました。
29	要議論	p9 14行目	恵庭市の事業者の要望を受入れ、今後も引き続き合わせ産廃を継続していく意向であることを記載するか否か、デメリットについて記載はするかどうか	
30	反映済	p11 表		市名をアルファベット表記ではなく固有名詞に置換えました。北広島市は広域での焼却施設稼働に伴いR6.4より料金改定を予定しているため、改定後の料金(案)を事務局で追加しました。

No	状況	箇所	意見内容	備考(事務局の判断根拠、議論してほしい内容等)
31	反映済	p11 9行目	が掛かっており、ごみ処理手数料は →が掛かっています。そのため、ごみ処理手数料は	
32	反映済	p12 -03-	『市民利便性の向上と処理経費の適正化』→『処理経費の適正化と市民利便性の向上』 デジタル技術を活用したさらなる市民利便性の向上と、長期的に安定した廃棄物処理を行うための継続的な処理経費の適正化が必要です。収集経費や廃棄物処理施設の運営経費を見直し、高齢化・人口減少社会の時代に合った選択を行っていくことが重要であると考えます。→市民利便性の高い戸別収集の維持や焼却施設の長期的な安定稼働のために、処理経費の適正化を図る必要があります。収集経費や廃棄物処理施設の運営経費を見直すとともに、デジタル技術を活用したさらなる市民利便性の向上や高齢化・人口減少社会の時代に合った収集処理処分方法の選択が重要であると考えます。	原案を基に、事務局で修正案を作成しました。
33	要議論	p13 (3)	ごみ処理恵庭モデルのあるべき姿 →ごみ処理恵庭モデルの将来ビジョン	p14(4)のタイトル、文章にも影響するため、その部分も含めて要議論。
34	要議論	p13 (3)	カラーリンクが分かりづらい	表現方法について要議論。
35	反映済	P13 (3)		市民・事業者・市が協働で更なるごみ減量に取り組むまち →市民・事業者・市が協働で取り組むごみ減量の更なる強化 適正分別で資源循環が進むまち →適正分別による資源循環の更なる促進 施設の安定稼働によってごみが適切に処理されるまち →施設の安定稼働による適切なごみ処理 5つのビジョンのうち下2つの文言に合わせた内容に事務局で修正しました。
36	反映済	p14 2行目	『いまの悩み』が見えてきました。これらの悩みを →『いまの課題』が見えてきました。これらの課題を	『悩み』を『課題』という表現に統一しました。
37	要議論	p15~p20	『具体的な課題』という文言について、今後に向けた取り組みという意味で、『取り組み項目』という文言に変えるのはどうか	現状としては『考え方』を示し、現状における『具体的な課題』があり、その上で今後行っていく『提言(取り組み)』という構成だが、課題の部分の別の文言に置き換えるのか、もしくは中身の表現の仕方を変えるか等、様々な角度から要議論。
38	要議論	p21 第7回	戸別収集や市単独運営焼却施設を維持するための今後の費用増に関する市民のコンセンサスが必要であることを確認しました。を追加	文言等含め内容について要議論。一旦反映しました。

No	状況	箇所	意見内容	備考(事務局の判断根拠、議論してほしい内容等)
39	要議論	p22 目的 6点目	廃棄物関連施策などの財源確保→戸別収集の継続的实施、廃棄物処理処分施設維持管理等の財源確保	第7回資料1 p47にて『廃棄物関連施策などの財源確保』として目的を既に確認しております。内容を修正する場合は要議論。
40		全体	とても素晴らしくまとめられていると感じた。 カラーも明るく、カラーリンクもしっかりとされており、見やすくなった。	
41		全体	彩色を有効に使い、とてもわかりやすく、非常に優れた提言書になっている。 他にも自分の立場で意見ができる部分がないか改めて精査したい。	
42		全体	当初案よりも市民にとって全体的に分かりやすくなったと感じる。 また、モデルの意味も分かりやすくなった。内容的に異存ない。 細かな文言については今後精査が必要だと思う。	
43		全体	こちらで問題ない。	